

昌子の広場 第36報

無所属市民派

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax) 0725-53-4451

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます。

<この会報は再生紙を使用しています>



目次

議会での一般質問	
8億円の土地を口約束で大阪府に代わり取得	P1
読売新聞が上記問題を報道	P2
市職員互助会で第2の退職金問題	P3
子供たちの健やかな成長のために	P4
昌子の広場	P4

**職員互助会、土地取得などについて
一般質問しました(第2回定例議会)**

8億円の土地を口約束で大阪府に代わり取得

府立弥生博物館横の土地を、大阪府に代わり和泉市土地開発公社が平成8年度に先行取得。
大阪府が目途とした平成12年の買い戻し時期になっても買い戻しが行われておらず、毎年多額の金利負担(約1200万円)が和泉市に発生。
大阪府と和泉市間に契約書などの書面は存在せず、買い戻しがいつ実行されるかも不明。

質問

大阪府立弥生博物館に隣接する土地については大阪府から依頼され先行取得したと聞いているが、事実か。又所得価格や新たに発生した費用などはいくらか。

答弁

取得は大阪府教育委員会からの依頼に基づくものである。土地代は8億3500万円。取得に伴う出費は鑑定委託料、測量費、フェンス設置工事費等で500万円。利子は単年度で1200万円。

質問

買い戻し時期や条件はどうなっているか。又それらを記した書面は存在するか

答弁

平成12年を目途に協議してきた。具体的条件は決めて



いないが、公社の先行取得なので基本的には帳簿価格と認識している。

書面での取り交わしはない。

質問

教育長この事実を知った時期、およびどのような説明を受け、どんな感想を持ったか

答弁

教育委員会に来たときに知った。通常は書面で取り交わすと考えられるが府と市の信義信頼の関係の中で書面が取り交わされなかったと理解している。
議員からは塩漬けという話があったが、決して塩漬けになるといようなことはないと確信している。

要望

大阪府と和泉市との信頼関係に基づき口約束で処理したとの事だが、8億円を超える事案であり約束の12年が守られていないのであれば、尚更書面での確認は最低限必要である。
覚書等を交わして頂くよう強く要望する。

大阪府の整備事業にもかかわらず和泉市が先行取得する理由。

約束の平成12年がすぎているのに大阪府への強い働きかけがない不思議。

毎年1200万円もの利息が必要なのに、それさえ払ってもらえない事実。

何か釈然としません。今後もこの事案を注意深く見ていきたいと思ひます。

読売新聞(7/20朝刊)でこれを報道(次頁)

読売新聞の報道(7/20付け朝刊)

2004年(平成16年)7月20日(火曜日)

壹

壹

糸斤

陸門

「塩漬け」のまま活用のメ
ドがたっていない土地(奥
は府立弥生文化博物館)＝
大阪府和泉市池上町で

池上曽根遺跡 展示センター計画

8億円土地塩漬け



財政難の大阪府

和泉市 金利負担綱引き 公社購入

弥生時代の集落遺跡として全国的に知られる国史跡・池上曽根遺跡(大阪府和泉市)の出土品を展示するため、大阪府教委が和泉市側に先行取得させた土地が、一九九七年から七年も「塩漬け」になっている。府が後で買い取り、展示施設をつくる計画だが、財政難で実現のめどが立たない。最終的に府と市のどちらが負担するか決まっていない利息が年1200万円、支払われ続けている。

遺跡の南約四百坪の約四千五百平方坪で、府立弥生文化博物館の西側。ここに土器や石器などの出土品を展示・保管する「池上曽根遺跡研究センター(仮称)」をつくる計画。
宅地開発の動きもあったため、府教委と和泉市側が協議し、和泉市土地開発公社が九七年、大阪市の不動産管理会社から約8億4000万円で購入した。当初は、二〇〇〇年度までに府が買い取り、建設する予定だったが、延び延びになっている。
同公社は購入資金の全額を金融機関から借り入れており、利息がかさむため、

府教委に負担軽減策を要望した。これを受けて、府教委は用地を「観光バス用駐車場」として借り上げ、同公社に賃借料として二〇〇一―〇三年度に計4060万円を支払った。今年度も600万円を支払う。それでも、利息や駐車場整備費の総額と比べ、約5000万円が市側の「持ち出し」になっている。同市教委社会教育部は「いずれは利息や整備費も上乗せして、府に買い上げてもらえ」と信じている」とするが、府教委文化財保護課は「いつ実現するかは分からない。買い取り条件はその際に話し合いたい」としている。

された出土品は、整理箱約一万九千個分のほり、大阪府と和泉、泉大津両市が分散して保管している。現在も発掘は進行中で、一括して保管し、学習にも役立つようにと、同センターの計画が持ち上がった。

**この問題は私の一般質問
で初めて明らかに**

市の負担であろうと、府の負担であろうと何れにしても市民の税金です。貴重な税金がこのように無意味に使われている現実があります。
財政が極端に逼迫している自治体にとってこのような無駄が許される筈がありません。
市民に見えないところでこのような事が蔓延しているのではと危惧します。